

令和5年度第1学期 法学部定期試験時間割

試験日	試験 時間	対象 年次	科目	教員名	履修者数	教室	学生番号	持ち込み条件
8/3 (木)	1	学3	民法Ⅲ	山本 周平	130	8	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
	2	学2	民法Ⅰ	吉田 邦彦	150	8	01174130～01224090	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
					95	W203	01224091～01224510 （15*****含む）	
	3	学3	経済法	中川 寛子	43	W203	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
8/4 (金)	1	学3	日本政治史	前田 亮介	108	W203	全学生	全て持ち込み不可
		学3	民事訴訟法Ⅱ	山木戸 勇一郎 伊藤 隼	53	5	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
	2	学3	行政学	村上 裕一	100	8	01184049～01214128	全て持ち込み不可
					61	W203	01214129～01222134	
	3	学2	刑法Ⅰ	小名木 明宏	150	8	01184304～01224091	全て持ち込み不可
					98	W203	01224092～02211009 （15*****含む）	
	4	学3-4	比較法Ⅰ	徐 行	129	8	全学生	授業内で指示する（教科書、配布資料、自筆ノート持ち込み可）
	5	学2	現代政治分析	空井 護	100	8	01184068～01224079	未定（確定次第、授業中およびMoodle上で周知する）
					83	W203	01224081～01224507 （02*****、15*****含む）	
8/7（月）はオープンキャンパスのため試験実施なし								
8/8 (火)	1	学3	行政法Ⅰ	米田 雅宏	120	8	01174080～01214120	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
					86	W203	01214125～01214509 （15*****含む）	
	2	学2	ヨーロッパ政治史	中村 督	150	8	01184068～01224073	全て持ち込み不可
					106	W203	01224074～01224510 （02*****、15*****含む）	
	3	学3	政治学	辻 康夫	100	W203	01174130～01214106	全て持ち込み不可。詳細はMoodle上で指示する。
					70	5	01214107～01222134 （02*****、05*****、15*****含む）	
		学2-4	法史学Ⅱ	水野 浩二	116	8	全学生	授業中に指示したものののみ持ち込み可
4	学3	民事訴訟法Ⅰ	横路 俊一	99	8	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）	
8/9 (水)	1	学3	商法Ⅱ	川村 力	81	8	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
		学3-4	行政法Ⅲ	佐藤 修二	34	W203	全学生	六法のみ持込可（有斐閣刊行の『租税法判例六法』等、判例付きのものも可とするが、書き込みのあるものは除く）
	2	学2	憲法Ⅰ	齊藤 正彰	150	8	01184004～01224101	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
					86	5	01224102～01224510 （15*****含む）	
		学3	国際法Ⅱ	開出 雄介	100	W203	全学生	国際条約集（有斐閣）のみ持込可（書き込みのあるものを除く）
4	学3	労働法	池田 悠	156	8	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）	
8/10 (木)	1	学2-4	法哲学	森 悠一郎	150	8	01174130～01224037	全て持ち込み不可
					80	5	01224038～01224131	
					63	W203	01224132～01224510 （02*****含む）	
	2	学3-4	社会保障法Ⅰ	川久保 寛	154	8	全学生	六法のみ持込可（判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く）
8/11（金）は祝日のため試験実施なし								
8/14 (月)	4	学3-4	特殊講義Ⅱ （損害保険の実務と法）	長崎 達	24	W203	全学生	全て持ち込み不可

<試験時間>

- 1 講時：8：45～10：15
- 2 講時：10：30～12：00
- 3 講時：13：00～14：30
- 4 講時：14：45～16：15
- 5 講時：16：30～18：00

法学部専門科目 定期試験受験上の注意

1. 試験時間中は、ロビーで声高に話をしないこと（試験室の迷惑にならないように注意すること）。
2. 受験者は、**試験開始 10 分前には試験室に入ること。**
ただし、前の試験が終了していないこともあり得るので注意すること。
3. **試験開始後 30 分経過後の遅刻者に対する受験は認めない**（遅刻しないように十分注意すること）。
4. **試験室での着席は、原則として一席置きとする。**
5. 受験者は、試験場内において、それが試験の実施に必要な限りにおいては、すべて監督者の指示に従って行動しなければならない。監督者の指示に従わないときには、退室を命ぜられることがある。
6. 受験中は、学生証を必ず机の上に提示しなければならない。**万が一忘れた場合には、試験開始前に教務担当窓口で「受験証明書」の交付を受けること。**
7. 受験者は、試験開始後 30 分間は退室することができない。**試験の途中で答案用紙を提出する者は、答案用紙の提出後、全ての所持品を持って退室しなければならない。**
8. 交付された答案用紙は、すべて提出しなければならない。
9. 六法等の持ち込みが認められることがあるが、その際には、
 - ①書き込みのあるもの
 - ②コピーを挟んだもの、貼り付けたもの
 - ③判例付きのもの（科目によって異なる）の使用は**不正行為と見なされる**。あらかじめ注意して、各自の責任で適切な六法等を準備しておくこと。
なお、六法等を忘れた者に対しての貸出しは行わない。
また、試験時間中に持ち込みの六法等を検査することがある。
10. 答案の作成は、ボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）による。特別な場合にのみ鉛筆等の使用を許可することがある。
11. 試験は、厳重な監督のもとで行われる。
法学部では当然のことながら公正さやルールを重んずることから、**不正行為は厳しく処分（停学等）される。**
12. **携帯電話を時計代わりに使用することはできない（電源を切っておくこと）。**
13. 成績公表以前に、教員に対する採点結果に関する問い合わせは禁止する。